

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価対象事業	環境	-	07	戸別収集事業				☐ 法定受託事務
所管課	環境部 ごみ対策課				評価者	ごみ対策課担当課長 実方 康一		
一般	会計	款	20	項	10	目	10	
総合計画上の位置付け	分野名	暮らしの共創			施策の方針名		廃棄物	

1 事業の目的

対象	市民等	意図	安定的かつ持続可能な一般廃棄物の収集体制を構築するため。
効果	クリーンステーション収集における市民負担の軽減、ごみの減量・資源化		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 (事業終了予定年度: 年度) ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	・先行地区燃やすごみ戸別収集の実施 ・全市燃やすごみ戸別収集開始に向けた体制整備	・全市燃やすごみ戸別収集の実施	・全市燃やすごみ戸別収集の実施
予算額（千円）	162,911	587,901	
国県支出金		275	
地方債			
その他	93,240	190,000	
一般財源	69,671	397,626	0
当初人員配置数	17.2	14.0	0.0
人件費（千円）	60,964	57,504	0
事業実績	・先行地区燃やすごみ戸別収集の実施 ・全市燃やすごみ戸別収集開始に向けた体制整備		
決算額（千円）	163,262		
国県支出金			
地方債			
その他	90,225		
一般財源	73,037	0	0
人員配置実績数	17.2	0.0	0.0
人件費（千円）	59,644	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
						（上段実績、下段経費（千円））		
活1	指標名	分別促進に向けた啓発シール貼付件数	件	—	㇏	336		
	実績につながる活動	不適正排出されたごみに啓発シールを貼り付けた				—		
活2	指標名	少量排出事業所収集制度登録数	件	47	㇏	47		
	実績につながる活動	登録数の増加に向けて、リーフレットの配布等による周知を行った				—		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	活動結果指標1及び2について、令和7年度の戸別収集対象は約10,000世帯、令和8年度以降の対象は約50,000世帯となるため、令和8年度以降は件数の母数が増える。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	・啓発シールの貼付件数は、全市戸別収集を開始した令和8年度からの傾向を以て本格的な効果測定が可能となる。（令和7年度から令和8年度は母数が増えるため必ず増加する。） ・少量排出事業所の登録数は順調に増加しており、事業系一般廃棄物の適正排出が促進されている。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No （最大3つ）
					実績			
成1	市内から排出される家庭系燃やすごみの収集量	t	18,200	㇏	17,873			1 2

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	成果指標の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	燃やすごみの減量に一定の効果はあったものと考えているが、令和7年度の戸別収集導入は市内一部先行地区（約10,000世帯）となっており、本格的な評価は令和8年度実績を以て行うこととする。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	令和7年度は一部先行地区（約10,000世帯）での戸別収集導入であることから、活動結果指標による正確な効果測定は難しいと考えており、令和8年度以降の推移を注視したい。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☐ 十分に出ている	☒ 概ね出ている	☐ 出していない
	効率性	事業費削減余地	☐ ある	☒ なし	
	公平性	関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない	
方向性	評価実施年度の方向性 →		評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り	☒ ① 事業内容は現状通りとする		
		☐ 事業内容は見直し済	☐ ② 事業内容は見直す	→ ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他	
		☐ 事業を休止又は廃止済	☐ ③ 事業は休止又は廃止する		
		☐ 他事業と統合済	☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する	→	事業へ統合
方向性	予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持	☒ ① 予算規模は現状維持とする		
		☐ 予算規模は拡大済	→ ☐ ② 予算規模は拡大する		
		☐ 予算規模を縮小済	☐ ③ 予算規模は縮小する		

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応		結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果		前年度は新たな課題なし		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題		新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性		新たに認識された課題はなかったため検討なし		
	総評	市内一部先行地区（約10,000世帯）における燃やすごみの戸別収集は大きな混乱なく、事業実施することができた。クリーンステーション維持管理の負担軽減に向けて、引き続き、戸別収集品目の拡大について検討していく。			上位施策への寄与度 B

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項	県内他市町の戸別収集導入状況								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	○	○	○	○	×	×	○	×	×
	1品目	紙・布類以外の品目 ※	1品目 （実証実験継続）	1品目 （段階的に実施）			3品目		

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	戸別収集の導入には、他自治体も類似した背景があると考えており、他市町の導入状況の比較は本市の戸別収集の導入及びあり方を検討する上で重要な指標と受け止めている。
----------------------	---